

# 災害救助法の迅速な適用を！

## 市議会が市長に緊急要請

臨時市議会があった1月30日。市内山間部は大雪となりました。大島区田麦で3㍍90㌢、牧区棚広新田で3㍍76㌢、清里区棚田で3㍍10㌢など6観測地点で積雪が3㍍を超えたのです。市民は屋根の雪下ろしや排雪などを急ぐとともに、通学、通勤、医者通りなどで大きな困難を抱えることとなりました。

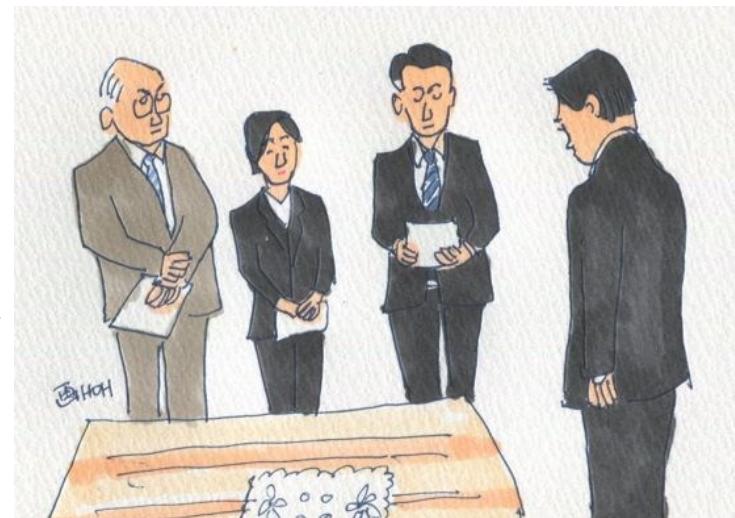
こうした事態を受けて、渡邊議長と高山総務常任委員長、そして災害対策特別委員長である私とで緊急3者会談を行い、昨年と同じように議会として市長に災害救助法の適用などで申入れしようということになりました。ただ、関係委員会の委員の声を聞いたうえで正式に決めるべきだということから、昼夜みに総務委、災害対策特別委の全メンバーに集まってもらい協議しました。その結果、

全員一致で正式に申入れが決まりました。

申入れは議会終了後、議長と総務委員長、私の3人が市長と会い、議長が「議会の総意です」と述べた後、申入れ文を読み上げ、要請しました。小菅市長は「真摯に受け止め、万全を期す」「これからも県と連絡を取り合い要請していく」とのべていました。2月3日現在、市は救助法適用に向けて県と交渉中です。

申入れ事項は以下の通りです。

- ①災害対策本部を設置し、災害救助法を一刻も早く適用すること。
- ②降雪に関する災害救助法適用に関する画一的な基準にとらわれることなく、中山間地等の積雪の実態や市民生活へ



の影響を総合的に判断し、適用基準を柔軟に運用すること。

③上記について、県に対する要請を速やかに行うこと。

※災害警戒対策本部は1月30日に設置され、3日、対策本部へと移行しました。災害救助法も近々、適用されることと思います。（追記：4日、大島区に適用）



雪の中のコウノトリ。1月29日、吉川区で子育てした親鳥夫婦が10日ぶりにやってきました。写真はメス。

雪が降り続いている。3日の9時現在、大島区田麦（上の写真）で4㍍20㌢、同区菖蒲で3㍍38㌢、牧区棚広新田で3㍍30㌢の積雪となっています。私は市内最高の積雪となっている大島区旭地区を中心に、この間、吉川区、安塚区、牧区などを視察、「早く災害救助法を適用させてもらいたい」「除雪支援は柔軟に広げてほしい」などの声を寄せてもらいました。

2月2日は馬場秀幸県議と牧区棚広新田、同区高尾などを訪問し、切実な要望を聞いていました。

イラストは高尾にて、89歳の方から話を聞いていたところを描きました。

## 大島区田麦で4㍍20㌢の積雪



【マサキ】ニシキギ科の常緑低木。高さは1㍍から5㍍。光沢のある緑色の葉は冬になると特別いとおしくなります。市内では、庭木や垣に使っている家が少なくありません。花期は6月から7月。緑白色の小さな花をたくさん咲かせます。花言葉は「厚遇」「円満」「果報者」など。写真は花ではなく、実です。2月4日、大潟区内で撮影しました。

## はしづめ法ーの 活動レポート

No.2238 2026.2.8  
発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3627  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
URL <https://www.hosei.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第八八五回

## 帰らないで

点滴だけの栄養補給がすでに七十数日になつて、手足などの体を動かして反応することは無理だと思つていました。でも、そうではありませんでした。医療介護型施設に入所している従姉(いとこ)のことです。二月一日の夕方でした。従姉の息子から電話があつて、「おじちゃん、母ちゃん、手を動かしたよ」とうれしいニュースが伝えられたのです。この日は私も午後一時近くになつて同施設を訪問していました。その時、従姉は目を開けてはいたものの、私からの呼びかけには全く反応がなく、正直言つて、だいぶ弱つたなという印象を持つていました。従姉の息子は、私よりも一時間半ほど後になつて母親の見舞いに出かけたようです。よほどうれしかつたのでしょう、電話では、いきなり、「おじちゃん、母ちゃんに歌、歌つてやつたよ。そしたら、母ちゃんが手、動かしたんだよ。おれ、びっくりしたよ」と言つたのです。歌は演歌で、知つてゐる限りの演歌を歌つたんだ」と訊いたのですが、恥ずかしいのか答えてくれませんでした。私は一度も彼の歌を聴いたことがありません。彼のとは間違ひない事実です。だからこそ、歌に合わせて手を動かしたのだと思います。私が訪問した時には右手に点滴を打つてもらつていきましたので、動かした手は左手です。手拍子というわけにはいかないで、左手を動かしたのだと思います。それについても、よく動かしてくれました。従姉がこの施設に入所してから、すでに四五年ほど経過していますが、目や口を動かしたところは何度か見ていました。でも、手を動かすところは一度も見ていませんでした。ただ、従姉が歌に反応することは私も気

づいていました。これまで見舞いに行つたときは、数年前まで従姉が毎日のように会つていた私の母親の写真を見せてきました。それはそれなりの反応してくれたのですが、しばらくしてからは、頸北地域を中心と頑張つてゐる「コミュニティバンド・ピアス」が歌つてゐる『かちやの歌』をユーチューブで聴いてもらいました。そのとき、スマホに映し出された画像を食い入るように見ている従姉の姿を私は見ていました。歌を聴き流すのではなく、そこに集中する力を持つていたのです。ですから、大好きな息子が自分のために演歌を歌つてくれている、その姿がうれしくなつて自分の左手を動かしたとしても不思議ではありません。

歌はけつこう大きい声で歌つたのです。従姉は左手を動かしただけでなく、額に歌、歌つてやつたよ。そしたら、母ちゃんが手、動かしたんだよ。おれ、びっくりしたよ」と言つたのです。歌はけつこう大きい声で歌つたのです。従姉はスタッフの人たちによると、従姉の息子の歌は隣の部屋にいた人たちにも聞こえたそうです。この日の夕方の電話には続きがありま

## 物価高騰対策予算案、臨時議会で可決

30日の臨時市議会では物価高騰対策などの予算案が提案され、審議され、全会一致で可決しました。予算の主な内容は先週の活動レポートに掲載した通りです。

総括質疑には、平原、橋本、上野の3議員が登壇し、クーポン券を選択した経過や金額・券の発送時期などをめぐり、活発な質疑を展開しました。特にクーポン券発送が5月になるのは遅すぎるのではないか、もっと早くできないかと迫る声が相次ぎました。

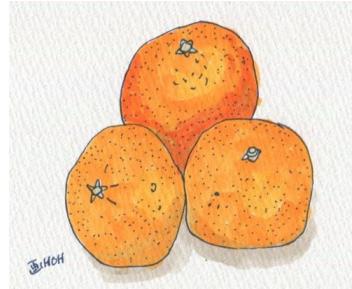
市側は「少しでも早く届けるようがんばる」とのべました。アレミアム商品券発行事業に関しては、日本共産党議員団の上野議員が商工業者の生の声を踏まえて質問、アレミアム率の改善や実施主体の負担軽減を求めました。市長は、アレミアムの補助率は今後検討していくとの答弁をしました。今回は無理でも次回以降は改善されるとの見込みです。

委員会質疑では、私は番外でし

たが、農政建設常任委員会審査の中で、豪雪災害対策本部の設置や救助法適用基準の弾力的な運用などをもとめて発言しました。

また所属する総務常任委員会審査の中で、衆院選の選挙費用について、「雪の中の選挙となつたが、夏場の選挙と比べてどこがどれだけ増えたか」と質問、選挙管理委員会は、公営ポスター掲示場の設置、撤去費用で倍になつたほか、その他の除雪費用を合わせると3000万円ほど夏場よりもかかることを明らかにしました。

今回の総選挙実施については大義が無いとの声が多いのですが、冬場の選挙を選択したことにより、多額の無駄遣いが生じることも明らかになりました。



ニュースフラッシュ

## 上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	1月28日(水)	2月4日(水)
上越消防署	0.053	0.050
上越南消防署	0.050	0.030
新井消防署	0.053	0.053
頸北消防署	0.047	0.050
頸南消防署	0.063	0.057
東頸消防署	0.053	0.043
名立分遣所	0.060	0.050
高士分遣所	0.050	0.047